

# 秋田県主催 高大連携充実シンポジウム

令和7年12月9日(火)



公立大学法人奈良県立大学  
石井宏典  
Ishii Hirofumi

1

## 基調講演テーマ

これからの時代に求められる高大連携・  
接続の一例

— 奈良県立大学附属高等学校の取組から —

2

## 奈良県立大学 沿革

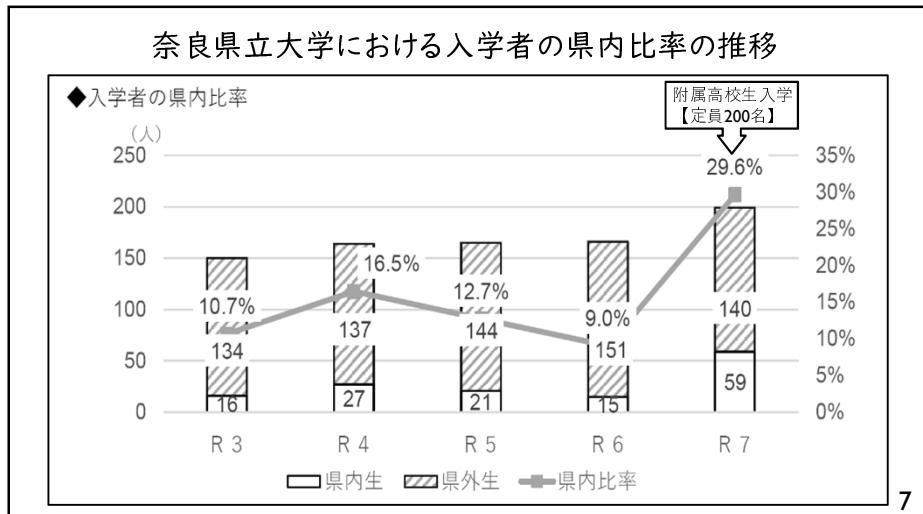
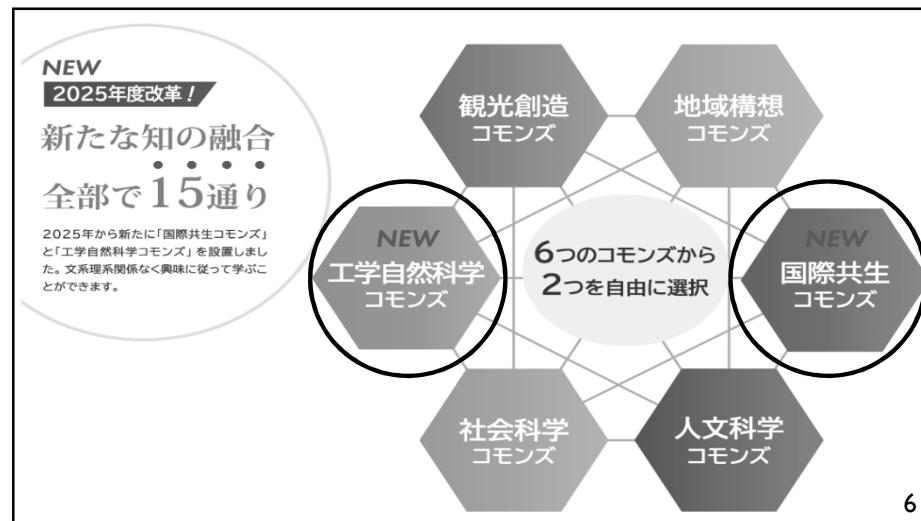
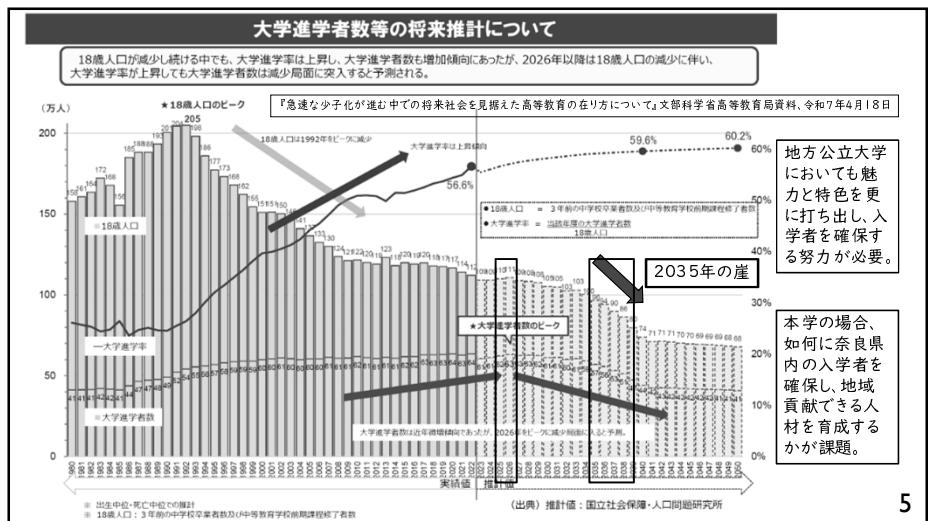
- 1953年4月 奈良県立短期大学商経科 開学(夜間・2年制)
- 1990年4月 奈良県立商科大学商学部商学科 開学(夜間・4年制)
- 2001年4月 奈良県立大学 開学(夜間・4年制)  
地域創造学部 地域経済学科・観光経営学科 設置
- 2007年4月 昼間・4年制に移行  
地域創造学部 地域総合学科・観光学科と改称
- 2014年4月 2学科を統合し、地域創造学科設置(4コモンズ)
- 2015年4月 地方独立行政法人法に基づく公立大学法人に移行
- 2022年4月 奈良県立大学附属高等学校 開校
- 2025年4月 文理融合の6コモンズへ再編・新設

3

## 奈良県立大学附属高等学校設置の経緯

- ◆奈良県立高等学校適正化実施計画(案)公表(2018年6月8日)  
→奈良県教育委員会による県立高校統廃合計画の提案
- ◆本学理事会で附属高校設置を決定(2018年6月15日)
- ◆本学に附属高校設置準備室を設置(2018年10月)
- ◆奈良県議会で定款変更の承認(2021年9月)
- ◆総務大臣・文部科学大臣の設置認可(2021年12月)
- ◆本学附属高校が県立西の京高校校地で開校(2022年4月)  
→県内初の探究科5クラス(200人)の単科高校(2学期制)  
→2025年度から探究科4クラス(160人)募集

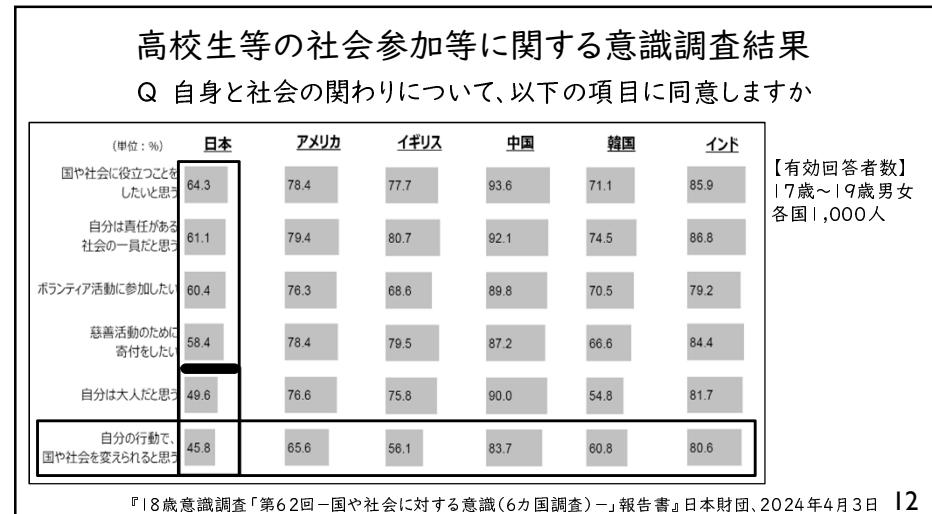
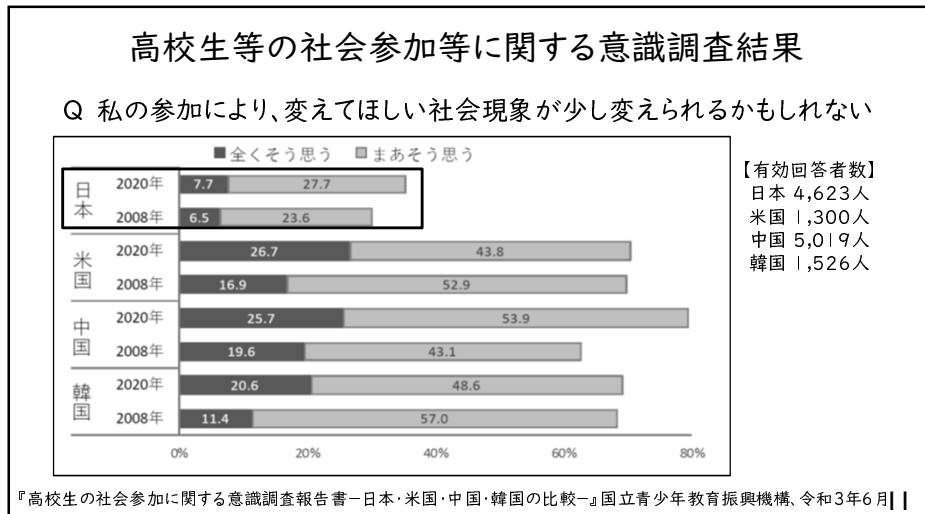
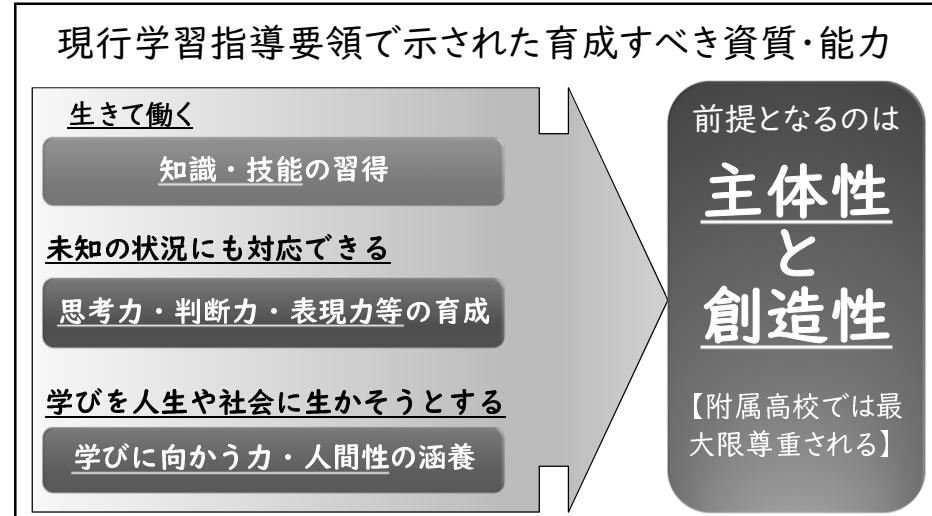
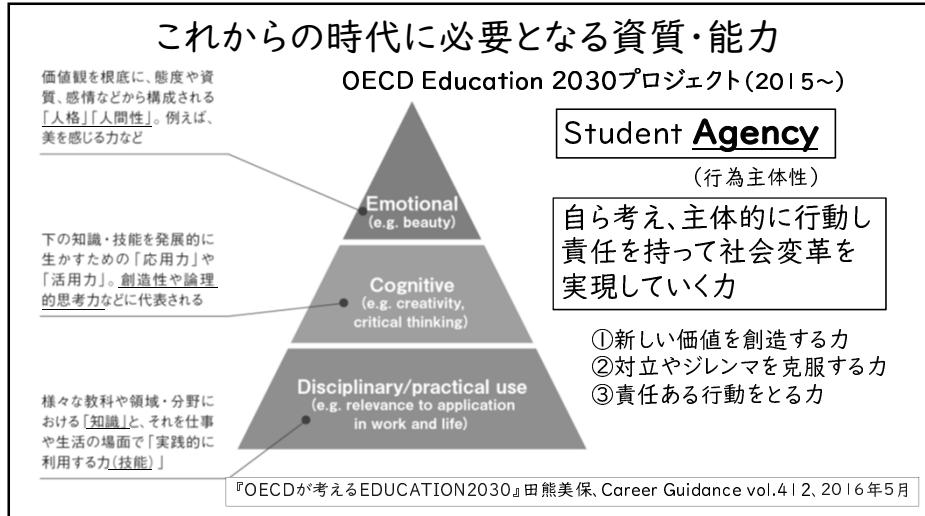
4



**奈良県立大学における卒業後の進路状況**

年度	卒業者数	進学者数	就職希望者数	就職内定者数	就職率	県内就職者数	県内就職率
2024	137	7	126	121	96.0%	9	7.4%
2023	143	3	137	134	97.8%	10	7.5%
2022	154	1	147	141	95.9%	19	13.5%
2021	153	3	144	138	95.8%	17	12.3%
2020	161	3	146	139	95.2%	16	11.5%

8



## 高大連携と高大接続

### 【高大連携】

高校と大学が教育資源（教員・施設等）を共有し、教育の改善や理解促進を図る協働的な取り組み。  
→出前授業、教員交流・研修、オープンキャンパスなど。

### 【高大接続】

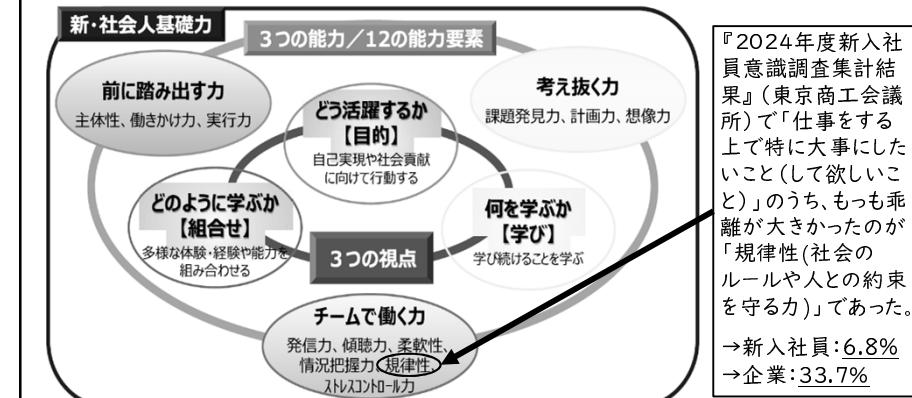
高校と大学を区切ること（非連続性）と繋ぐこと（連続性）の両面を持つつつ、高校から大学への学習者の移行を促すこと。  
→構造的側面（入試制度等）、内容的側面（カリキュラム・教育方法等）、運営的側面（ガイダンス・情報交換等）がある。

『日本における高大接続の課題—「セグメント化」している現状を踏まえて』日本学術会議報告、令和5年9月27日

高大連携・接続のその先に続くのは実社会

13

## 人生100年時代の社会人基礎力



『人生100年時代の社会人基礎力について』経済産業省産業人材政策室資料、平成30年2月

## 高校・大学・社会へのトランジションリレー

『高大接続の本質』溝上慎一責任編集、学事出版、2018年2月15日

◆大学4年間で大学や学部が立てた目的にしたがって学び成長する  
「自律のエンジン」が必要

- ①家庭学習をはじめとする学習習慣を身に付けていくこと
- ②自らの考えを表現し、他者と積極的に対話・協働するアクティブラーニングができること
- ③それぞれの時点で何のために大学で学ぶのか、将来どのような仕事をし、どのような大人になりたいのかに答えられるキャリア意識を持っていること  
→これらをバランス良く育てることが重要

※自律的な学習者(Active Learner)を如何に育てるのか？

15

## 奈良県立大学附属高等学校スクール・ミッション

1. 新たな高校教育モデルの構築と実施
2. 生徒の夢と希望(想起させ)の実現

## 奈良県立大学附属高等学校スクール・ポリシー

### ◆本学の建学の精神

「奈良の再発見を通して日本と世界に貢献する」  
→これを踏まえた「グラデュエーション・ポリシー」、「カリキュラム・ポリシー」、「アドミッション・ポリシー」を制定



※詳細は、奈良県立大学附属高校公式WEBページをご覧ください。

16

## 生徒綱領

※スクールポリシーを踏まえた行動指針

### 自立

自らの意思で主体的に行動し責任を持つ

### 貢献

他者や社会への関心を持ち、課題解決のために自らの能力を發揮する

### 挑戦

失敗を恐れず、新たなことや困難な課題に果敢に挑む

◆自立した個人として他者や社会に貢献し、何事にも挑戦する

17

公立大学法人が新たに設置した全国初の附属高校

◆キーコンセプトは「高大連携・接続」

- ◆県立大学との連携・接続を前提にした課題探究型の学び  
→カリキュラムは大学等との連携・接続を前提に設計
- 課題探究Ⅰ・Ⅱを中心に行なう
- 反転学習とアクティブラーニング型授業【Learn How to Learn】
- 県大コース(3年生)で大学講義等の受講

高校2年間の附属高校における各種プログラムで  
大学教育に対応できる資質・能力を育成できるか?

18

## 附属高校のカリキュラム(第1学年)

### 1年生

基礎学力を身につけ  
目標へチャレンジする  
カリキュラム

### POINT

#### データサイエンス I

これからの時代に必要な統計的思考力を育てる授業です。データ処理、分析、推定など統計に関する内容を一元的に取り扱います。

科目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34
現代の国語	現代の国語	言語文化	地理総合	歴史総合	数学I	数学A	化学基礎	生物学基礎	体育	保健	芸術	I	論理・表現I	家庭基礎	課題探究I	データサイエンスI	L	H	R															

19

## 附属高校のカリキュラム(第2学年)

### 2年生

知的好奇心が深まる  
カリキュラム

### POINT

#### キャリアデザイン

高校時代から、将来について明確な目標をもち、それに向かって学ぶことの価値を見出す、社会との接続を意識した学校独自の科目です。

科目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34
国語研究I	国語研究I	文学研究I		公共	世界史探求/日本史探求		数学II	データサイエンスII	物理基礎	探究理科A/化学	体育	保健	英語研究I	探究英語I	課題探究II	キャリアデザイン	L	H	R															

20

## 附属高校のカリキュラム（第3学年）

3年生

## 個性を磨き活かせる カリキュラム

## POINT

**県立大学講義科目**  
県立大学への進学を希望する人が、高校の授業に加えて大学の講義を受講します。週2日大学に通い、単位を取得することができます。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34
県 大	県立大学講義科目																										課題 探究Ⅲ							
大 学 受 験	古典演習																										世界史発展 日本史発展 地理発展		探究 数学		英語 演習		選択科目	
	数学Ⅲ																										物理／生物							
	国語研究Ⅱ	文学研究Ⅱ	公民特論	データサイエンスⅢ	体 育	英語研究Ⅱ	探究英語Ⅱ																						L	H	R			

**Check !** ▶ ■ =国公立大学入試に完全対応のカリキュラム!

附属高校の学校運営等で留意していること

#### ◆県内公立高等学校のヒエラルキーからの脱却

- ①普通科志向に対する懐疑  
→探究科の単科高校へのこだわり  
②進路に迷った経験

## ②独自の入学者選抜の実施

- 推薦入試【専願】(1月下旬実施)  
→一般入試【専願・併願】(2月中旬実施)

→自校作問等によるAPの明確化

- ◆入学前教育の積極的導入(中・高接続?) (マインドセット)  
→一人一台端末とTeamsを活用したオンラインホームルームの実施  
→Classi(ベネッセ)を活用した課題(国・数・英)の配信  
→「課題探究」「導入課題(興味のある業界に関する新聞づくり)」の実施

22

附属高校の学校運営等で留意していること

#### ◆知識注入型の一斉講義形式偏重の見直し

- 「進学校」から「シン・学校」へ
  - 反転学習を前提とするアクティブラーニング型授業を全教科で実施
  - 受験学力の定着・向上は課外の各種講座等で対応
  - ◆生徒が自由に設定したテーマによる探究学習
  - 大学等、外部リソースの積極的活用(課題解決力<課題設定力)
  - ◆ICT活用教育の環境整備と積極的活用
  - 一人一台端末(BYAD)のフル活用、生成AIの活用等
  - AiGrow、スタディサプリ(リクルート)、Office365Educationの活用等
  - ライフキャリア育成プログラムとしてENGEED教材を活用
  - ◆インターンシップの活用
  - 夏季休業中・冬季休業中等に県内企業等で実施

23

附属高校の学校運営等で留意していること

#### ◆自律的な行動と時間管理

- ノーチャイム、朝夕のSHRの廃止

#### ◆リフレクションの徹底

- 三者面談では生徒自身が成績を振り返りプレゼンテーション  
→リフレクションタイムを活用し家庭学習等に繋げる

◆部活動の創部

- 大学非常勤職員の身分を持つ「部活動指導員制度」を導入  
◆生徒への信頼と委任(自由と責任、権利と義務)

→「生徒心得」(一般的には「校則」)を生徒総会で制定

- 「生徒心得」(一般的には「校則」)を生徒総会で制定  
→各種学校行事の企画・運営等は生徒主体

#### ◆議論と対話(生徒同士・生徒と教職員…)

- 価値の対立を調整する際の基本原則

24

## 新たな高校教育モデルの構築と実施



◆アクティブラーニング型授業、プロジェクター型電子黒板、情報端末やデジタルコンテンツの積極的活用

25

## 新たな高校教育モデルの構築と実施

### 課題探究について①

- ◆各学年の課題探究のゴール

#### 【第1学年】

興味・関心に基づく探究(研究)課題の設定と基本スキルの習得  
→ディベート、レポート、プレゼンテーション、インタビュー

#### 【第2学年】

2年間の探究活動の成果物である論文(探究レポート)の作成

- ◆探究フォーラム(第1学年・第2学年)

課題探究の到達点を発表(各クラス／全体会・分科会・ポスター)

→自分の考えを発表すること(内面を外化することが重要)

- ◆批判的検討(質疑応答や意見交流)

26

## 新たな高校教育モデルの構築と実施

### 課題探究について②

- ◆論理的思考(Logical Thinking)

→物事を整理(分解)し順序よく筋道を立てて考える

- ◆批判的思考(Critical Thinking)

→前提となる事実を明らかにし多角的・批判的に考える

※附属高校が大切にする重要な「思考のフレームワーク」

→人間としての生き方、振る舞い(行動)に影響を与える

→差別・偏見の克服(人権教育の視点)

27

## 生徒の夢と希望の実現

- ◆進路希望調査の実施及び個人面談の実施

→1年:5月、2年:4月、3年:4月

- ◆大学受験に対応する実力養成講座の実施

①平日(0・8・9限)

→1年:7講座、2年:11講座、3年:17講座

②夏季休業中

→1年:5講座、2年:16講座、3年:16講座

③冬季休業中

→1年:5講座、2年:7講座、3年:6講座、3年共通テスト対策:14講座

④春期休業中

→1年:9講座、2年:14講座

- ◆自学自習のための環境整備

→ブース型デスクを校内2カ所に64台設置・運用(土・日・祝も開放)

28

## 生徒の夢と希望の実現

### ◆インターンシップ(佐藤薬品工業)



### ◆自習室の学習ブース



※インターンシップはキャリア形成に役立つロールモデルとの出会い

29

## 2025年度 進路実績(一期生)

### ◆大学等合格状況(現役生のみ)

#### ●4年制大学 国公立(52)

奈良県立(36)山口(2)北海道・筑波・埼玉・富山・三重・滋賀・京都工芸繊維・京都市立芸術・奈良女子・奈良教育・岡山・山陽小野田市立山口東京理科・徳島・高知工科(各1)

#### ●4年制私立大学(363)

近畿(64)畿央(31)龍谷(19)関西外国语(15)立命館・大谷(各13)追手門学院(12)大阪工業・大阪経済(各8)京都女子(7)関西(6)同志社女子・損南(各5)明治・森ノ宮医療(各3)大和・京都橘・武庫川女子(各2)慶應義塾・関西学院・名城・京都産業・神戸薬科・京都外国语(各1)、他

#### ●海外大学(1)

国立台湾(1)

#### ●専門学校(28)

奈良市立看護(5)奈良県医師会看護・大和高田市立看護・紀南看護・日本医療学院・大阪医療技術学園・関西学研福祉医療学院・大阪行岡医療専門学校長柄校(各1)、他

### ◆就職状況(4)

自衛隊航空学生・奈良県(警察事務)  
・大阪府警・民間(各1)

### 卒業生数(現役生のみ)

194名

30

## 高大連携の実際

### 【1年生対象】

- ◆創立記念講演会(6月15日)
- ◆県大Week(8月上旬)
- ◆県大図書館オリエンテーション(9月上旬)
- ◆課題探究Ⅰ【県大Hour】(10月下旬)

### 【2年生対象】

- ◆課題探究Ⅱガイダンス(6月上旬)
- ◆研究活動相談会(8月上旬)
- ◆県大出張授業(9月中旬)
- ◆秋の中間発表会(11月中旬)

### 【1・2年生共通】

- ◆探究フォーラム(3月中旬)

31

## 高大接続の実際

### 【3年生対象:上限50名】

#### ◆県大コース(高大接続科目等履修プログラム)

→県大版 Advanced Placement Program

①大学1年次授業(リベラルアーツ等)の一部を受講

→毎週月・金に大学で講義を受講しテスト等を受ける

→前期・後期ごとに6~12単位の履修が可能

→修得単位は大学入学時に卒業必要単位として認定

②特別ゼミ【90分×前期4コマ・後期3コマ(入学前教育)】

→各自の課題探究の検討、入学後の研究計画の検討

32

## 高大連携・接続プログラムの効果検証

高校2年間で大学教育に対応できる資質・能力を育成することができるのか？

代表サンプル



県大コース生（上限50名）  
特別推薦（内部進学）候補生

33

## 高大連携・接続プログラムの効果検証

県大コース生（上限50名）  
特別推薦（内部進学）候補生  
→一期生・二期生の実績を見ると…

大学教育に十分対応できる資質・能力を  
獲得している可能性が高い

35

## GPA(Grade Point Average)／成績指標値

- ◆履修科目の成績を点数化し、算出された1単位あたりの平均点
- ◆学内選考、奨学金、留学などの場面で用いられることがある。
- ◆3.0以上あると優秀といえる。3.5以上あれば成績上位に入る。

評語	GP	基準点	基 準
秀	4	100~90点	到達目標を十分に達成できている非常に優れた成績
優	3	89~80点	到達目標を十分に達成できている優れた成績
良	2	79~70点	到達目標を達成できている成績
可	1	69~60点	到達目標を最低限達成できている成績
不可	0	59点以下	到達目標を達成できなかった成績

34

## 結びに

奈良県立大学附属高等学校で大切にしていること

- ◆主体性と創造性（信頼と委任）
- ◆論理的思考と批判的思考
- ◆議論と対話
- ◆パブリシティ（教育情報の積極的発信）

「隠れた（潜在的）カリキュラム」(hidden curriculum)に細心の注意を払いつつ教育活動を推進し、私たちのミッションの達成に向けて、検証と改善を繰り返しながら最善を尽くしています。

36

## 基調講演テーマ

これからの時代に求められる高大連携・  
接続の一例

— 奈良県立大学附属高等学校の取組から —

37

秋田県で学ぶ全ての子どもたちが、生き生きと  
輝くことのできる教育活動が一層推進されます  
ことを心から祈念申し上げます。

ご静聴有り難うございました

 奈良県立大学 石井宏典

38